

社会福祉法人 福智の里 指定障害者支援施設 鷹取学園

郵便822-0007
福岡県直方市下境336-11
TEL 0949-24-6622
FAX 0949-24-8333



本日のスケジュール

- ▶ 自己紹介
- ▶ 鷹取学園について
- ▶ 一日のスケジュール
- ▶ 先輩社員の声
- ▶ 活躍している職員・教育体制について
- ▶ 福利厚生



施設長 三宅 市郎 (みやけ いちろう) 理科系の大学出身の自分が なぜ福祉の世界へ？



大学4年生の時に、周りの友達が一般企業を求め、就職先を探している中、私は「やりがいのある仕事をしたい」、「人があまりやらない仕事をしたい」...と考えていました。そこで頭に浮かんだのが「福祉」！別の障害者の施設で体験して、これからやっていけるかを考えたところ...「大変な仕事だけど、やっていけそうな気がする...」という感触を抱きました。その後、就職先を探し、見学に行ったのが、この鷹取学園でした。それから26年、ここでしかできない経験がいっぱいありました。

支援員 大山 麻美 (おおやま あさみ) (フラワーホーム・ホーム長)



- ▶ いつも明るく(本当は人見知り)、元気が取り柄。
- ▶ 小学校の時の担任のすすめで、地元の障がい者の通所施設に見学に行き、何か自分の中に残っているものがあり、その後も福祉関係の勉強が出来る高校を選択して、介護の免許を取得する。高校の時の恩師が、知的障がい児施設の前職員であり、色々な話を聞かせてもらい、知的障がい者についてもっと勉強したい・携わる仕事がしたいと感じ、大学も保育科のある短大を選択し、進学する。進学後も、施設実習を通し、もっとたくさん勉強したいと思い、就職科で一番給料の多い鷹取学園を選んだ。仕事場でも、出来るだけ毎日笑顔で(時には厳しく)、園生の皆が自然に笑っていただける環境をつくりを目標に毎日仕事に奮闘している。

職員構成

- ▶ 施設長1名
- ▶ 支援主任1名
- ▶ 支援員32名（正職員28名・パート4名）
- ▶ 事務員2名
- ▶ 看護師2名
- ▶ 栄養士1名・調理員6名
- ▶ 洗濯職員（パート）2名



=>

鷹取学園とは

- ▶ 昭和56年4月に設立。令和2年4月で創立40周年を迎えます。障害者の方が、生活し、日中の活動を行っている入所施設で、現在76名の利用者が入所しています。
- ▶ 主に知的障害の方で、身体に障害があったり、精神に障害がある方もいます。例えば、こだわりが強く当施設の車の位置を何度も確認したり、思い通りにならず、他人を叩く利用者もいます。そういった方の生活や活動を支える仕事です。
- ▶ 行動障害といわれる障害の方も入所されています。



施設入所支援（生活）

入所者数 76名
男性 43名 女性 33名

プロ野球ホーム



サムライホーム



ディズニーホーム



フラワーホーム



生活介護支援（日中の活動）

- | | | | | |
|------------|------------------------|-------------|----------------------|--------------|
| 作業班 | ・農園芸班
・アロエ班
・陶芸班 | 軽作業班 | ・染色班
・木工班
・和紙班 | ・手芸班
・機能班 |
|------------|------------------------|-------------|----------------------|--------------|



=>

医療・健康管理

毎日の薬手当て



週1回の歯科治療



リハビリ



月1回の精神科診察



法人ならではの特徴①

▶ 体力低下防止としてのリハビリテーション

行動障害の利用者が多い中、利用者も年齢を重ね、現在では平均年齢が54歳となり、少しずつ高齢化の課題が上がっています。その対策として、作業療法士2名の先生に来てもらい、月2~3回のリハビリテーションとして、体力低下防止の運動を行っています。日中活動とは別に、体力別にAグループからHグループの8つのグループに分けて、独自のメニューを組んで行っています。



年間行事

=>



誕生会



親子旅行



学園祭



花見

他にも夏祭りやクリスマス会などがあります！

=>





法人ならではの特徴②

▶ 生活や日中活動に関する記録の開示

=>

支援員は生活面、日中活動面で利用者の記録を日誌という形で記録を残しています。その日誌がインターネットを通じて、保護者の方が確認でき、利用者の一日一日の活動を保護者に把握してもらう形をとっています。保護者それぞれにパスワードを渡して、他の保護者は見れないようにし、個人情報も守っています。



法人ならではの特徴③

▶ 利用者が作った作品の販売について

日中活動を行っている8班では、それぞれ特徴ある作品を作っています。その作品を園外で販売する機会を設けています。例えば、直方駅近くのギャラリーのぐちでの作品展示販売会、直方市近郊の障害者事業所が参加する販売イベント、園内では学園祭で販売しております。また、農園芸班の野菜やアロエ粉末は、近郊の直売所にも出品しています。



=>





鷹取学園のスケジュール

- ▶ 6:30 利用者の起床
- ▶ 7:10 朝食・歯磨き (余暇)
- ▶ 9:00 掃除 (利用者・職員)
- ▶ 9:40 朝の会
- ▶ 10:00 AM日中活動
- ▶ 11:50 昼食・歯磨き
- ▶ 13:00~15:00 PM日中活動及び入浴 (4~9月)
- ▶ 15:30 団らん
- ▶ 17:30 夕食・歯磨き
- ▶ 18:20 余暇・就寝準備等
- ▶ 21:00 消灯



一日の日中のスケジュール (支援員)



夜勤のスケジュール (支援員)



大山麻美の自分年表（入社時）



▶ H20年 20歳 短大を卒業し、鷹取学園へ入職

右も左もわからない中、一生懸命利用者をサポート
仕事内容について（農園班）

▶ 一年目にホームは男女混合のホームで、作業場は農園芸班という、とても濃い所属グループでした。特に農園芸班は、利用者も職員も男性ばかりでしたので、はじめは戸惑いました。今でも覚えているのが、初めて農園芸班での玉ねぎの皮むき作業でした。その時の農園芸班のチーフがとてもユーモアがあって、見た目とギャップがあり、会話も弾み、楽しく作業ができた事を覚えています。農園芸班に選ばれた理由はわかりませんが、いろいろな悩みも聞いてもらえたからこそ、いまこうやって仕事を続けられているのも事実です。

=>

大山麻美の自分年表（結婚して）



▶ H23年 23歳 結婚 結婚式には職場の皆さんが参列。

新婚旅行で休む事も快く承諾もらえた。

自分では、プライベートと仕事が両立できていると思っていましたが、知らず知らずのうちに担当の利用者から距離をおかれており、その事は今でもふりかえっても一番ショックな出来事でした！しかし、その時先輩からアドバイスをもらい、改めてその利用者と向き合っていくことで、溝も埋まっていきました。この時、仕事ではじめて大きな壁にぶつかった事も事実です。どうやったらいいのか、どうしたらうまくやっていけるのかなど、本気で悩んだ時期でした。

大山麻美の自分年表（育休復帰後）



H24年 24歳 第1子出産（産休→育休）

▶ H25年 25歳 育休から復帰 太った体で、仕事のリズムを戻しつつ…。フラワーホームに所属。母となって感じたのが、保護者の気持ちです。親として、自分に何ができるのかを考えることができました。この間にもう一人妊娠をしましたが、利用者との距離を少しずつ深めながら仕事にあたりました。周囲の職員から身体を気遣ってもらい、無事に産休に入ることもできました。

H28年 28歳 第2子出産（産休→育休）

▶ H29年 29歳 育休から復帰 2回目だったので、仕事と家庭を何とか両立できました。何よりもうれしく感じたのが、1年間いなかった間も利用者が私を覚えていてくれ、名前を呼んでくれたことです。保護者からも「大山さんなら安心できる」と言われ、自分の存在価値と今まで頑張ってきた甲斐があったと感じました。

▶ H31年 31歳 フラワーホーム ホーム長に就任

▶ R2年 32歳 利用者の支援、後輩の指導をし、家では主婦として毎日がんばる！

=>

大山支援員に質問



● 仕事のやりがいは？

● 職場の雰囲気は？



支援員 大山 麻美 (おおやま あさみ) (フラワーホーム・ホーム長)



★仕事のやりがいは？

▶自分が担当している利用者Aさんは4年目になります。利用者Aさんは自閉傾向が強く、いろいろな拘りがあります。時には気分の高揚や、パニックを起こすこともあります。その利用者が鷹取学園にきたときはそれはもう男性職員でも手をつけられない程の方で、正直近づくのも怖いほどでした。一度目の出産復帰後の2年目に担当することになりました。時には手を出されることもあり、毎日勉強の日々でしたが、日に日に落ち着いてきて、Aさんの行動パターンが見えてきました。行動パターンを把握する事で、次は何をするのか、何を求めているかがわかるようになり、わかることで信頼が深まってきました。今ではAさんのほうが私の行動を見抜くこともできるほど、お互いわかりあえることができていく感じがします。一生懸命、言葉やジェスチャーで伝えてくる事もあり、それが理解してもらえた時の利用者の笑顔を見ると、壁にぶち当たる事が8割ですが、私自身も一つの役割を果たせた事で、自信が持て、次への一歩に繋がりました。本当に小さな事でできるようになった事をホーム職員と共有できた時の喜び・自分の担当の利用者が良くなった事で、楽しさややりがいを感じる。

▶朝から夜まで一日は本当に長くなり、家庭（母親）と仕事の責務を感じる日々はハードですが、何か違った事が起こる刺激ある日々に幸せを感じる事もあります。

▶給与面でも、半年に1回ある賞与が年々増えていく事で頑張ろうと思えます。

支援員 大山 麻美 (おおやま あさみ) (フラワーホーム・ホーム長)



★職場の雰囲気は？

▶入職して、3年目で結婚をし、その年に一人目を妊娠しました。先輩に産休・育休経験者もいて、色々なアドバイスをして頂けた。初めての妊娠で、産休前は不安もある中の仕事でしたが、職場のみなさんが(男女問わず)、色々なフォローをしてくださり、自分の身体と同じように気遣ってくれ、何事もなく、無事に出産する事が出来ました。産休に入る前の手続き等も事務職員が相談にのってくれました。出産した後の休みの間も気遣って連絡してくれ、1年間も休んだあとでも戻りやすい雰囲気でした。現在も、子供の体調不良等で急に休まなければいけない時も、早く休みをとれる言葉をかけてくれ、自分の子供のように心配をしてくれる等、働く母親にとって安心して働ける環境をつくってくれます。理事長をはじめ園長や支援主任もいつも家庭を優先して良いと言ってくださり、勤務も配慮してくれます。

鷹取学園で活躍している職員像

▶①情熱のある人

▶②こつこつと頑張る人

▶③福祉でのボランティア経験がない人

▶④「障害者」という枠にとらわれる事なく、利用者と一緒に物事を成し遂げていく人



○入職後の体制について

・入職して2週間程度、先輩職員が担当している利用者の生活や日中活動の班について、業務を体験してもらい、活動全般を理解してもらいます。その後、少しずつ生活担当・班担当のそれぞれに所属し利用者をサポートしていきます。

・夜勤での初めの1ヶ月間は、先輩職員と一緒に夜勤体験を行います。夜のゆっくりした利用者の姿は、日中とは違った雰囲気があります。

○教育体制

・生活、日中活動と先輩職員がついていますので、わからないことがあれば質問できます。また、利用者の記録の中でも大切な視点があればアドバイスします。

・1年目は、社会福祉協議会・福岡県知的障害者福祉協会の主催の初任者研修への参加、2年目以降は各機関主催の各研修会、3年目以降は通信教育で社会福祉主事、社会福祉士養成研修等の援助を行います。その他、年1～2回は園内研修を行っています。



福利厚生

福利厚生

通勤手当、他諸手当あり
社会保険完備
退職金制度あり
ソウウェルクラブ加入

勤務時間

平日・日勤→8:45～17:00
夜勤→16:30～翌9:00

休日

週休2日制
年間106日（令和2年度）

=>

応募

応募方法は自由です。
（まずはお電話を）

○インターンシップ前に学園見学をお勧めしています。

ホームページ

<https://www.takatori-gakuen.com/>

学園見学スケジュール
見学会

1/18（火）・1/25（火）・2/1（火）
2/22（火）・3/1（火）
10:00～（応相談）

※ご希望があればJR直方駅まで送迎ができます。

上記以降はホームページをご覧ください。



ぜひ、お待ちしております！

